



雪小だより11月号

令和5年 10月31日

大田区立雪谷小学校

校長 八木 貴広

<http://www.ota-school.ed.jp/yukigaya-es/index.html>

視えないもの

校長 八木 貴広

子どもの頃に自宅で飼ったことのある生き物は、ほ乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、昆虫をひっくりめると、おそらく100種類を超えるのではないかと思います。どれも、ずっと眺めたり触ったりして飽きませんでした。特にかわいがったのはウサギでした。二羽のウサギを庭で放し飼いにしていました^{*1}。名前はギーとグー。名前の由来は、ウサギはイライラするとギーとかグーとかいう呻き声のような音を漏らすからです(かまひすぎでした)。そして、両足で地面を踏み叩いて音を立てたりします。いわゆる「足ダン」です。それを自分の足の上でやられたことがあります。かなりの力でした。仲間に危険を知らせる合図なのだそうです。それはともかく、羽毛をまとったようにフワフワの体、抱いてよし、撫でてよし、決して噛みついてくることのない温厚な性質。子どもに人気があるのは、その愛らしさと穏やかさゆえでしょう。そういう動物なので、雪小ではウサギを飼育しています。名前はラビー。高齢のため、今は教員室で暮らしています。飼育委員会の子どもが愛情深く世話をしているので、人なつこい。ケージの掃除をする子の動きに合わせて、ラビーも体の向きを変えます。それが一人と一羽のダンスのように見えてほほえましい。

ウサギは顔が細長く、両眼が顔の側面についています。そのため、正面から観察すると眼球が飛び出して視えます^{*2}。外敵の多いウサギにとっては、これが大切なことで、そのような眼であることによって、360度の視界が確保できています。ただし、これは水平方向だけを考えているので、垂直方向も考え合わせると、実際のところは球体の中にあるかのような視界を得ているのかもしれませんが、XYZ軸座標の原点にいるようなものです。これに対して人間の視界は、両目で200度程度と言われています。鏡でも使わない限り、前と後ろを同時に視ることはできません。ウサギの視界がとてもうらやましく思えますが、私たち人間は、おそらくウサギには見えそうにないものを見ています。それは、「視えないもの」です。「視えないもの」を見る力、想像する力というのはとても偉大です。感覚知覚に頼らないのですから。そして、繊細でもあります。その人のものの考え方の習慣や思考範囲を表しもするからです。もちろん、それは突破できるものでもあります。たとえば、他者の力によって。

秋晴れの運動会の閉会式。成績発表が終わりました。まる一日、声を張って応援し続けた応援団長たちが小走りで前に出てきます。表彰の品を渡す直前。朝礼台の前には、優勝旗と優勝カップを受け取る二人、準優勝盾を受け取る一人。奇数でした。盾を受け取る名誉を前にして、彼の目には悔しさの涙があふれています。それはそうでしょう、校庭に集う児童・教職員・保護者・来賓約2500人の気持ちを奮い立たせるリーダーであり続けたのですから。「どう接しようか」、朝礼台の上で、こちらもちょうど揺れました。勝った組の二人に優勝旗と優勝カップを渡し終えた直後、下で盾の授与を待つ彼と目が合いました。驚きました。その表情が一転して晴れやかなものになっているのです。優勝旗を手にした団長の背中をポンポンと二度軽くたたき、相互に穏やかな笑みを交わした彼は、ポートボール台に軽やかに乗り、にこやかに盾を受け取ります。「爽やかでよし」——私の口をついて出た言葉です。これが適切だったのかどうかは今もって分かりませんが、盾を覆うほどになった6年生の大きな手の頼もしさと、私の言葉に深くうなずいた少年らしい紅顔は、カラーで記憶に残っています。

人の気持ちが昇華していく場面を見たことの驚き。敗れたという事実、自分も手にしたかった優勝旗を受け取った友達が目の前にいるという事実、これまで練習に取り組んできた仲間の姿の事実、リーダーとしてやり遂げたという自分の事実…。盾を受け取る直前に、そういった諸々の視えることや視えたことが、心の中でぶつかり合うのを感じた後で、知らぬ間に一段高いところへと足を踏み入れていた自分が見えたのでしょうか。相手や仲間がなければ成り立たない高み、芝の上に一人で立ち、葛藤の末に自力でたどり着いた高みです。そういえば、「盾の両面を見よ」ということわざがありました。複眼的な価値判断の大切さを述べたものですが、今年の運動会の盾に引き付けると、このように考えてよいかもしれません。すなわち、片面には準優勝の文字。もう片面には見えないインクで「君は成長したよ」の文字。優勝旗の裏面にも同じように書かれていたことでしょうか。相手あつての成長を二人の団長から見せてもらいました。「人間っていいなあ」と思えたのが、今年の運動会の収穫です。

運動会には、多くの皆様にご参会いただき、ありがとうございます。PTA役員・各部会委員の皆様、ツドボラの皆様、親父の会の皆様に感謝申しあげます。子どもたちのためにありがとうございます。

^{*1} 彼らは庭の土に穴を掘って、巣を作りました。子どもの私の腕がすっぽり入って、なお深い穴だった記憶があります。

^{*2} ちなみにミッフィーちゃんの口が「×」形である理由は、ウサギの顔を正面から見るとよく分かります。

11月の目標

進んで係の仕事しよう

子どもの心サポート月間

1	水	学習タイム 午前授業（6年4組は5時間授業）	
2	木	お話会トムテ（4年生）委員会活動 卒アル委員会(予備日)	
3	金	文化の日	
4	土	東京都教育の日	
5	日		
6	月	放送朝会 色覚検査（4-1） 卒アルクラス写真(6年生)	
7	火	工場見学（3年生）色覚検査（4-2） SC	
8	水	学習タイム 色覚検査（4-3） 小中一貫教育の会 補習（3・4年生）	
9	木	クラブ活動 避難訓練（津波） お話会トムテ（1・5年生）	
10	金	色覚検査（4-3）	SC
11	土	土曜授業・学校公開 補習（5・6年生）	
12	日		
13	月	放送朝会	
14	火	音楽朝会（高） 原爆先生の特別授業（6年）	SC
15	水	学習タイム 午前授業 補習（5・6年生）	
16	木	音楽朝会（低・杉） お話会トムテ（2年生） クラブ活動 医療専門相談（杉の子） 卒アルクラブ写真(予備)	
17	金	児童集会 午前授業 就学時健診 芝生養生（終）	SC
18	土		
19	日		
20	月	放送朝会 下校指導（1年生）	
21	火	音楽朝会（中） 社会科見学（5年生）	
22	水	人権集会	
23	木	勤労感謝の日	
24	金	社会科見学（6年生）	SC
25	土		
26	日		
27	月	放送朝会 生命尊重・人権週間（始） SC	
28	火	音楽朝会（予備） 卒アル学年写真（6年生）	
29	水	学習タイム	
30	木	音楽会リハーサル	

SC・・・スクールカウンセラー

※4年生の色覚検査について、詳しくは学年だよりをご覧ください。

1年生より

入学してから早くも半年以上が経った1年生。ワクワクドキドキしながら、日々新しいことに挑戦しています。

2学期は学年全体で取り組む行事がたくさんあります。先日は、初めての運動会に出場しました。どの子も自分なりにめあてをもって、競技に全力で参加することができました。それに加え、開閉会式での話の聞き方、友達同士での声の掛け合い、今何をする時か考えて行動するなど、集団としての力を高めてきました。

その数日後には、田園調布せせらぎ公園へ秋を見付けに行きました。ドングリや色付いた葉っぱ、林の中にある生き物を見付けて、拾ったり観察したりしました。ここでも、集合時間や交通ルールを守るために声を掛け合う姿から、集団行動に対する個々の意識の高まりを感じます。

この経験を今後の1年生の学校生活に生かし、個々の力、集団の力をさらに力を伸ばしていきたいと思ひます。

専科より

音楽では、12月の音楽会にむけて毎時間練習を頑張っています。また、10月の運動会では、6年生が鼓笛による入場行進を演奏しました。5年生は大田区の連合音楽会で、学校の代表としてアプリコで発表してきました。これからも行事や授業を通して、子供たちが達成感や感動を味わい、心が成長できるように取り組んでいきたいと思ひます。

音楽専科

図工では、子供たち、ひとりひとりが自分なりのアイデアを生かして絵を描く・工作する等の創作活動に取り組んでいます。丁寧に色を塗ったり、形や模様を工夫したりする等、熱心に作品作りを頑張っています。図工の学習、作品制作を通じて考える力と豊かな心を育てていきたいと思ひます。

図工専科

家庭科では、家庭生活を大切にする心、家族の一員として生活をよりよくしようとする態度を育てることを目指し、衣食住などに関する実践的・体験的な活動に取り組んでいます。ご家庭には、家庭実践等でご協力いただきありがとうございます。今後も、生活をよりよくできる力が身に付くように指導していきます。

家庭専科

それぞれの学年や季節にあったテーマで、英語で自分の考えや思いを伝える活動を取り入れています。英語の授業だけではなく、休み時間にはイングリッシュカフェを通して、同じクラスの友達以外にも英語でコミュニケーションをとる楽しさを感じる時間を設けています。外国語を通して、お互いの良さを感じ合ってもらいたいと思ひます。

外国語専科